

ベクトル

福島県立葵高等学校

進路だより

2021年1月29日(金)発行

第12号

53万5千人余りが志願した大学入試共通テストが1月16、17日に行われた。昨年度までのセンター試験から名称が変わり、図や資料から読み解く問題や文章量の多さなど、単に名称が変わっただけではなく新しい形式の問題が見られた。その共通テストを受験した3年生から後輩へのアドバイスの一部を紹介しよう！1、2年生は、『これは自分にあてはまる』と思ったら、今日から、学習に取り組む姿勢や勉強方法、日常生活を変えよう。

後輩へのアドバイス(学習について)

- ・毎日の授業を無駄にせず復習することで絶対知識は身につきます。模試や定期考査も解きっぱなしではなく、できなかった問題を理解するまで復習することが大事だと思います。
- ・周りの人が学校で使う教材以外を使っている心配せずに、教科書やワークを使い続けた方がいいと思う。先生方が選んだ教材だから、きっと間違いない。
- ・日頃の積み重ねが最重要だと思う。わからない、または不安な部分があればその日のうちに友達や先生に聞いて解決しておく、後に苦労しないと思う。
- ・暗記をするだけの学習はもう通用しません。そこから1ステップ進んだ"考える"学習が必要です。学習した知識は、どこで使われているのか、どう社会に活かされているのか、普段から考えるクセをつけるといいと思います。時間は誰にでも平等に与えられた財産であり、限りあるものです。10分でも机に向かう、単語帳を見るなどできることはたくさんあります。
- ・どの教科においても共通テストでは資料や長い文章が多く出題されます。早く隅々まで読むことを日頃から意識すると良い。
- ・定期考査を暗記だけで乗り越えていくと、共通テストは難しい。しっかり内容を理解するまで勉強することが大事だと思う。
- ・短期間で一気に点数up!なんてものはない。毎日少しずつの積み重ねこそが力の源になる。
- ・とにかく英語は大切です。言語なのですぐに伸びる科目ではありません。ですが、毎日少しの量でもいいので英文を読んでみてください。また、音読は本当に力がつきます。私も毎日音読するように心掛けたらだんだん英語の点数が伸びていました。
- ・1,2年生の頃や3年生の1学期は、学校からの課題(週末課題)があると思います。部活等で時間がなくて答えを写して提出している人もいますが、ちゃんと解いて理解すること。
- ・いかに基礎的な問題を落とさないかは、とても重要。もっと上を目指すならば、ハイレベルな問題にも慣れておくことが必要。その意味でも模試の復習はとても大事。
- ・英語や国語をはじめとして、文を読む速さが遅いと問題をじっくりと考えることが出来ない。必ず鍛えておくべきだ。
- ・日頃の授業が大切です。当たり前ですが出来る人が合格します。学習以外のことにも目を向け、様々なことに取り組んでください。

一般選抜がよいよ始まる。私立大学の前期日程やA日程、そして国公立大学前期試験へ向けて、3年生、頑張ろう！



後輩へのアドバイス(生活について)

- ・スマホは敵。本当に敵。集中できないなら他の部屋に置いて勉強すべきです。
- ・スマホとの付き合い方を見直しましょう。
- ・進路が決まるまでは、SNSや動画アプリなどはすべて消していた。やって良かった。
- ・普段からちゃんと学校へ行って、規則正しい生活を送りましょう！
- ・『早寝早起き朝ご飯』はとても大切です。しかし、やろうと思っても1日2日でできるものではありません。勉強と同じで、日々の積み重ねが大切です！
- ・睡眠と食はおろそかにせず、しっかり食べて休むことが何よりも大切です。
- ・とにかく体調管理が大事。そのため生活習慣を整えることが一番大切だが、ストレス発散も適度に行い自分でリフレッシュするための時間を作ると良いと思う。
- ・土日でも生活リズムを崩さないといい。
- ・家で過ごす方で他人と大きく差が出ると感じた。今から普段の時間の使い方を見直して、効率よく学習する習慣を身につける必要があると思う。スマホが一番の敵であることは間違いない。
- ・部活と勉強のバランスをよく考えて両立できるように努力することが大事だと思います。
- ・今勉強しないでだらだら生活している人がいたら、その生活から早く抜け出し断ち切るべきです。予習復習を疎かにし、テスト前だけ頑張って勉強する日々を送ると短期記憶になってしまい、勉強をしてもすぐに忘れてしまいます。日々の積み重ねが受験ではとても強みになると思います。
- ・時間はあるものではなく作るもの。自分は電車通学で、市内の人に比べて早起きしなければならなかった。家の学習時間をまとめてとるのが難しかった。電車の中や休み時間、朝自習などのすき間時間を活用して、単語、文法、教科書を読むなど机がなくてもできる勉強をした。

後輩へのアドバイス(その他)

- ・過去は変えられなくても未来は変えられます。努力をして報われない世の中があったとしても、努力をして損をする世の中ではないと思います。目の前にある壁が扉になる時が来ます。その日がいつかやってくるまで、目の前のことを前向きに頑張ってください。
- ・私は友達のおかげで頑張ることができたので、一緒に頑張ってくれて自分を良い方向に導いてくれる友達の存在が大きかったです。また、葵の友達だけでなく中学校の友達や部活動で知り合った他校の友達の支えもありました。受験は団体戦という言葉の広い意味を知ることが出来ました。
- ・この受験を通して自分の夢を叶えるための努力をするのはもちろんですが、それに加えてクラスメイトや友人を全力で応援できるような心の広い優しい人間へ成長出来たらいいなと思いました。
- ・推薦合格した人はうれしい気持ちになったり、気持ちが抜けることもあると思います。しかし、周りに頑張っている人がいるのを忘れないでください。朝の自習や休み時間、放課後など自分が話したりしていることで邪魔をしていることになるので気づいてください。学年全体で共通テストに向けて頑張れるよう雰囲気作りも大切です。
- ・受験生は本当に本番直前まで伸びるので、模試の点数が伸び悩んでも、最後まで諦めずに頑張ってください。

卒業生からの 応援メッセージ **第2弾** が届きました！



○私は去年国公立志望でセンター試験を受験しました。しかし、あまりにも悲惨な結果でした。なので、急遽私立大学をピックアップして、1ヶ月勉強して受験に挑みました。結果として自分が一番行きたかった私立に合格できました。基礎を最後にもう一回見直すことがいいと思います。応用より基礎です。とにかく言えることは絶対に最後まで諦めないでください。最後まで努力した人はきっと報われます。あと少し頑張ってください。応援しています！！

この卒業生のセンター試験の結果を見た時に、なんで？と思ったほど駄目でした。

本人が書いた通り、センター後は私立に向けて頑張りました。

○共通テストお疲れさまでした。自己採点後から受験当日までの過ごし方が一番大事です。共通テストという一つの大勝負が終わり、心身共に疲れて燃え尽きている人もいると思います。大きく羽を伸ばせるまで、あとたった1、2か月だけです。もうちょっと踏ん張ってやりきりましょう。

葵高校の先輩方も疲弊を乗り越えて志望校に合格しています。同じ葵高校のみんなもその力を持っています。あとはみなさん次第です。頑張ってください。

この卒業生のセンター試験の判定はB。二次は理科2科目で受験でき、記述模試でも点数は取れていたため、安心して受験できた方だと思います。国立大学前期試験で合格しました。

○受験生の皆さん、共通テストお疲れさまでした。結果はどうあれ、センター試験が廃止されて傾向が掴みにくい新テスト、さらにコロナ禍という超最悪な環境の中、“一般”入試を選び、時間を削って勉強して、共通テストに立ち向かったみんな、とてもカッコいいです。2次まで残り1ヶ月となりますが、諦めないで最後まで駆け抜けてほしいです。応援しています。

この卒業生は推薦入試で不合格。一般試験で国立大学に合格しました。最後まで諦めずに頑張りました。

○共通テストお疲れさまです。共通テストを終えてみて、結果が良かった人、良くなかった人、各々色々なことを感じたと思いますが、それはもう終わったことです。終わったことはどうにもなりません。これから大事なことは、今、何をするかです。結果が良かった人は、特に、合格するまでは絶対に気を抜かず最後まで頑張ってください。

結果が良くなかった人は、きついことを言いますが、落ち込んでいても時間の無駄です。前に進むしかありません。受験という者は本当に最後の最後まで何が起きるかわかりません。諦めるということは自分で可能性をなくしているだけです。ここで頑張らなかつたら、今まで頑張ってきたことが無駄になります。ここで頑張ったら結果がどうであっても無駄になりません。受験は本当に辛いし、逃げたいと思います。しかし、それを乗り越えて勝った時、あの時頑張ってた良かったと思えるはず。みんなの合格を祈っています。頑張れ！

この卒業生は、センター試験の結果はC（ベネッセ）でした。合格可能性は40%。

二次試験の判定はB、合格可能性60%で、逆転を目指して頑張りました。本人の弁の通り、最後までやり切ることが大事だと思います。国立大学前期試験で合格しました。

○共通テストお疲れさまでした。結果は自分が一番わかっていると思います。前を向いて先のことを考えましょう。私は一年前「今から始めれば遅すぎることはない」という言葉に救われました。「遅すぎた」なんてことは終わってからわかるものです。今はただ、目の前のやるべきことをひたすらにこなしていくことが大切だと思います。自分の考え方、見方を変えるだけで自分のモチベーションが変わってきます。ぜひ前向きな言葉を口にして最後までください。

本当に頑張れば頑張るほど、これからの人生の糧になります。応援しています。

推薦入試で駄目で、一般に切り替えてセンター試験（今の共通テスト）、国公立前期と頑張った卒業生です。センターの判定はそれほど悪くはなかったのですが、周りの生徒が決まってく中でプレッシャーがあったのかな。みんなの背中を後押しする言葉ですね。国立大学前期試験で合格しました。

○私立を第一志望にしている人たちはこれからが本番だと思います。一つ言えるのは、絶対に最後の最後まで第一志望の大学はあきらめないでください。私はAO入試も落ち、（私立の）前期一般試験は補欠合格でした。周りはどんどん合格していく中で、正直、もうきつくて諦めかけていました。でも担任の先生に「ここで諦めたら、人生で一生後悔するぞ」と言われて最後までやり抜くと決めました。2月終盤に行われた中期試験は3人しか取らないので厳しいと思いましたが、合格することができました。今、大学に入って、あの時あきらめなくてよかったと強く思います。

勉強時間ですが、部活をやっていたときはほぼ0に近かったです。テスト前にやるぐらいでした。受験シーズンは1日12時間を目標に勉強していました。今やっていることは、今後の人生で絶対無駄にならないと思います。私のクラスは2月まで勉強していた人は10人ぐらいでした。そこではみんなで励まし合って勉強することでモチベーションが保てたと思います。辛いときは一人にならずに周りコミュニケーションをとると、良い息抜きになります。

話は変わりますが、大学で医療系に進みたい人は、勉強や実習はきついので、ある程度覚悟はした方がいいと思います。命にかかわる仕事なので当然ですが。そこで勉強する習慣がない人は実際どんどん退学していきます。大学に入ることがゴールではなく、入ってからが勝負だと思います。私は高校時代では考えられないくらい、大学では勉強しています。私は「人の役に立つ人間になる」という目標があるのでこれからも努力します。ここまで指導してくださった先生方にはとても感謝しています。昔の私からは考えられませんが、人は変われます。なので、今のこの苦しい時期を全力で頑張ってください。

この卒業生は、本人が書いた通り、吉報がなかなか届かず、諦めかけては職員室でクラス担任や部活の顧問の先生方から叱咤激励されていました。最終的に自分の目標を貫き通すことが出来ました。「高校時代とは変わった」と言う本人に会って、大学での頑張りを聞いてみたいです。